

希望の種

ふくおか NPO ファイル

④

今回は障がいや病気がある人向けに、看護師や理学療法士が付き添う外出・旅行サービスをオーダーメイドで提供している福岡市西区の「NPO法人あすも特注旅行班」を取り上げます。「あすも」という団体名には「明日も行きたい」「明日も行けるよ」という、未来を向いて生きる思いが込められています。

あすも特注旅行班

事務所＝福岡市西区▽電話＝092(980)1235
▽メールアドレス＝npo@asumo-fukuoka.jp

旅や外出の願い実現

最後に思い出をつくりたい。でも、この身体では無理だからあきらめます」という言葉を繰り返して聞いてきた。 「希望に込められず、悔しい気持ちを抱えてきた」と大橋さん。孫の結婚や夫の墓参り、帰郷であっても、病院のターニング(就業体験)を経て、事業展開のノウハウや必要な知識を学びました。 営利企業であれば、同業他社の手助けは考えにくいと思

を設立。設立後の1年間で、延べ40組にバリアフリーの宿泊地などを組み合わせた計画を提案しました。 好調なスタートに見えますが、大橋さんは「継続的に人を雇用し、ビジネスとして成立するには、まだまだ社会的認知や発信力が足りない。介護士やソーシャルワーカーなど、専門職の方の理解や後押しも必要」と言います。

一職員では連れ出すことはできなかった。行政の支援制度もなく、当時は外出サービスを提供する民間業者も不在だったのです。

こうしたサービスを国内で先駆的に始めたのは、神戸市の「NPO法人しゃらく」です。患者たちの希望をかなえたいと思った大橋さんは病院を退職し、「しゃらく」に依頼して事業の現場に飛び込みます。2カ月半の社会人イン



「イチゴ狩りをしたい」という長期療養中の男性をサポートし、一緒に八女市を訪れた大橋日出男さん(左)

病院や家の中で寝たきりになっているが、出かけたという希望がある人はたくさんいるはず。また、旅行班の存在を知らない人が待っている。大橋さんは、そういう人たちに会うための工夫や施策が必要だと考えています。(仮認定NPO法人「アカツキ」代表理事・永田賢介)

原則毎週月曜掲載